



本棟造の調査研究を行っています

歴史研究所では2007年度から、本棟造の所在・聞き取り・実測調査を行っています。飯田市域には、明治期以前の本棟造が概数として約150棟程度残存していますが、往時はその2～3倍あったと思われます。生活水準の大幅な向上により、年々空家になったり取り壊されたりする本棟造も少なくありません。

本棟造は全国的にも長野県の中・南部にしか存在しない建物であるので、1棟でも多く利用されて残ることを願っています。

解体移築による保存

三遠南信自動車道整備のため立ち退きすることになった川路の塩澤家（『年報4』参照）ですが、地元の要望により解体保存されました。屋根裏材の腐食がありましたが、今後地元の観光資源としての活用が考えられています。



解体中の塩澤家（川路）

移住による保存

飯田市では「結いターンキャリアデザイン室」を通じて就労・新規就農などのUIターンを受け入れています。なかには古民家に住みたい方もおられ、提供していただいた空家に住まわれた例がいくつかあります。最近では上久堅の本棟造に京都から若夫婦が入居されました。建物に少し痛みはありますが、自分たちで手直しをして、ゆくゆくは宿泊施設にしたいと考えられています。建具の一部は取り壊された別の本棟造から譲り受けました。



養蚕用に2階を上げた本棟造（上久堅）

調査研究の目的

この2例は特殊な事例かもしれませんが、まずは所有者が残したいと思うような建物の価値を再認識する手助けになることが、建造物の調査を行う理由の一つです。建築から百数十年経過し、分からなくなってしまった建築物の本来の機能や建築技術を理解する機会になればと考えます。

また、取り壊される建物に関しては記録保存のための調査を行っています。皆さんの情報提供等、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

本棟造と^{とう}祈祷札

本棟造の棟を支える柱の最上部に、祈祷札を打ち付ける慣習があったようです。中には年号が書かれた祈祷札もあるので、あわせて調査を行っています。



祈祷札

シンポジウム

伊那谷の後期古墳と 東国の宮号舎人氏族

—大王家の親衛騎兵隊と牧— (仮題)

飯田下伊那地域の古墳の本格的な築造は、馬匹文化の受容により始まったことが明らかにされています。そして、当地域は6世紀以降、千曲川流域とともに科野国の中心となり、科野国造が活躍しました。ヤマト王権(大王家)との結びつきについて文献学から、また、古墳時代後期の遺跡・遺物などについて考古学からそれぞれ見直し考察します。

第6回 飯田市 地域史研究集会

▼開催期間

平成20年9月19日(金)～21日(日)

▼主な内容

19日 午後4時～ 研究員会議

20日 午前10時30分～ セッション1 古代の牧と宮号舎人氏族
午後2時～ 記念講演 吉村武彦さん(明治大学教授)

午後3時15分～ セッション2 古墳と騎馬集団

21日 午前9時～ セッション2 続き

午後1時30分～ 研究報告会

—地域の歴史・文化に関する研究成果の報告—

▼会場

飯田信用金庫本店大会議室・飯田市役所りんご庁舎

セッション1・2報告者 風間栄一さん(長野市教委)・鈴木一有さん(浜松市)・
渋谷恵美子さん(飯田市教委)・田島 公さん(東大史料編纂所)・土生田
純之さん(専修大学)・山口英男さん(東大史料編纂所) (50音順)

飯田アカデミア2008

専門研究者が歴史研究の最前線を分かりやすく講義します。より多くの皆さんに聴講いただけるよう、開講時間やテーマを多彩にしました。

第43講座 6月7日(土)午後1時30分～午後5時
(4コマ) 6月8日(日)午前10時～午後2時30分

第44講座 7月19日(土)午後3時～午後4時30分
(3コマ) 7月20日(日)午前10時～午後2時30分

①近世の国際関係と脱鎖国論

②近世日本の世界図と世界観

講師: 荒野泰典さん(立教大学教授)

①明治以来、江戸時代は「鎖国」が常識でした。しかし近年、当時の国際関係の実態が明らかにされ、「脱鎖国論」の立場から近世日本の国際関係が描けるようになりました。その概要を紹介し、「鎖国」と考えられるようになった歴史的経緯について概説します。

②戦国時代までの世界の概念図であった数種の世界図は、ヨーロッパの世界地図と出遭い、やがてその役割を終えていきます。徐々にヨーロッパ的世界図が浸透し、幕末には庶民にも世界地理認識が広まりました。2つの世界図の葛藤と変遷を概観し、それらが現在の私達に残したものについて考えます。

■講座によりコマ数が異なります。1コマは90分です。

■会場 飯田市りんご庁舎3階会議室(飯田市本町1丁目15番地、地域交流センター)

■募集人数 各講座30人

■受講料 1コマ100円(資料代)

軍隊と銃後活動

講師: 上山和雄さん(國學院大学教授)

第2次世界大戦まで、軍隊は人々にとって大変身近な存在でしたが、戦争が日本社会に悲惨な結末をもたらしたため、戦争を主に担った軍隊は遠ざけられ、次第に忘れ去られていきました。しかし軍隊やそれを支えた仕組みを十分に理解しないと、戦前の日本社会はなかなか理解できません。近年こうした視点からの軍隊研究が次第に行われるようになりました。今回の講座は、こうした視点からの研究を踏まえつつ、地域に残されている史料をもとに、飯田下伊那の中の軍隊の諸側面を採り上げたいと思います。

採り上げるテーマは、「下伊那の兵士像」「在郷軍人会の役割と活動」「戦時動員」などを予定しています。

■申込み・問い合わせ 電話、ファクシミリ、Eメール、ながの電子申請サービス(<http://shinsei-nagano.lg.jp>)で、歴史研究所へお申込みください。

■ファクシミリまたはEメールでお申込みの場合は、住所・氏名・電話番号を明記して下さい。



歴研は「人・地域・世界の架け橋」

飯田風越高校 桐生賢蔵さん(歴研現代史ゼミ)

「飯田は、その養蚕・製糸を通じて世界市場につながっているだけでなく、移民の輩出、受け入れにおいても、意外なほどに強い絆を世界との間に打ち立てていたのです。そのことが、早くからこの地の人々に広い世界的な視野を持たせていたのでもありました。」(『世界史なんて知らない?』(南塚信吾著、岩波ブックレット714)

歴研現代史ゼミでは、この視点がダイナミックに展

開されています。英文文献を読み、それと併せて地域のデータ・資料を参考に、世界と飯田下伊那とのつながり、この地域の特性、及び世界との共通点など、この地域を世界の視点から微視的かつ巨視的に学んでいます。参加者の年齢層は広く、出身地や人生経験も様々なので、話題が豊富で、気楽なサロンの雰囲気の中で楽しく会話が弾みます。本ゼミは、参加できる時に気楽な気持ちで集える「人・地域・世界の架け橋」です。地元のこんなすばらしいゼミに是非ご一緒しませんか。

2008年度 基礎共同研究・基礎研究のテーマをご紹介します

基礎共同研究	研究テーマ	研究代表者
	「下伊那地域における近世・近現代史料の所在状況に関する悉皆的研究」	竹ノ内雅人(研究員)
	「聞き取りによる史料調査」	鬼塚 博(研究員)
	「下伊那地域における近世・近現代史料の拠点型・現状記録調査および採集調査」	竹ノ内雅人(研究員)
	「飯田・下伊那地域における歴史的建造物の所在状況および現状に関する悉皆的調査研究」	伊藤 毅(顧問研究員) 金澤雄記(研究員)
	「飯田市内における学校関係史料の現状記録調査」	多和田真理子(調査研究員)
	「下伊那の戦時体制研究」	鬼塚 博(研究員)
	「他地域における飯田・下伊那関係の史料所在調査」	吉田伸之(研究部長)
	「アーカイブズ、特に行政非現用文書の保存・活用に関する実践」	坂口正彦(調査研究補助員)
基礎研究	研究テーマ	研究者
	「森林資源の管理・利用システムとその変遷」	岩本純明(顧問研究員)
	「下伊那地方在郷軍人会に関する史料調査と研究」	上山和雄(顧問研究員)
	「飯田・下伊那の教育・人間形成についての教育者会的研究」	田嶋 一(顧問研究員)
	「飯田・下伊那地域の戦後開拓」	森 武麿(顧問研究員)
	「下伊那地域における諸身分集団の複層構造に関する研究」	吉田ゆり子(顧問研究員)
	「兵農分離と地域社会の変容」	吉田ゆり子(顧問研究員)
	「下伊那郡における地方行財政の展開—1889～1955—」	鬼塚 博(研究員)
	「飯田・下伊那地域における本棟造の悉皆的調査研究」	金澤雄記(研究員)
	「飯田・下伊那地域の寺社と地域社会に関する基礎的研究」	竹ノ内雅人(研究員)
	「地域社会経済史「兩大戦間期の組合製糸」の集約を中心として」	田中雅孝(調査研究員)
	「近世上飯田村の村落秩序と社会構造」	多和田雅保(調査研究員)
	「明治期座光寺村における小学校運営」	多和田真理子(調査研究員)
	「移民送出と外国人労働者、飯田・下伊那地域の産業構造から」	本島和人(調査研究員)
	「下伊那と満州移民」	齊藤俊江(調査研究補助員)
	「飯田遊郭の女性の生活」	齊藤俊江(調査研究補助員)
	「アーカイブズ、特に行政非現用文書の保存・活用に関する調査・研究」	坂口正彦(調査研究補助員)
	「近現代、特に戦後の飯田・下伊那地域における農民の行動分析」	坂口正彦(調査研究補助員)
	「伊那自由大学再考—先行研究を踏まえて「伊那自由大学」とは何かを考える」	清水迪夫(調査研究補助員)
	「近代日本における地主小作関係の再検—森本家の事例を中心として—」	谷本雅之(客員研究員)
	「古代中世信濃地域史における下伊那地域の諸問題」	福島正樹(客員研究員)
	「近世の地域社会構造—伊那郡と安曇郡の比較をとおして—」	前澤 健(客員研究員)

歴研ゼミだより 6・7月の予定

歴史研究の方法を学んでいただくための講座です。各ゼミでは随時受講生を受け入れています。

近現代史ゼミ

地域社会史入門—飯田町の記憶を探る—

- 開催日 第2・第4木曜日 6月12日・26日
／7月10日・24日
- 時 間 午後7時～8時40分
- 担 当 田中雅孝(調査研究員)

現代史ゼミ

地域社会とグローバリゼーション

- 開催日 隔週水曜日 6月11日・25日
／7月9日・23日
- 時 間 午後7時～8時40分
- 担 当 鬼塚 博(研究員)

建築史ゼミ

建築と町並みの見方

- 開催日 第2火曜日 6月10日「家相図」
7月8日「農村舞台」「丘の上」
- 時 間 午後7時～8時40分
- 担 当 金澤雄記(研究員)

※「近世史ゼミ」は定期開催は未定ですが、多和田雅保調査研究員を講師に、6月21日午後6時から、飯田市歴史研究所で行います。

新スタッフ紹介

竹ノ内雅人(たけのうちまさと)・研究員

日本近世史専攻。1977年鹿児島県生まれ。東京大学大学院修士課程修了、同大学院博士課程単位取得退学。



今年4月から歴史研究所に着任しました。これまで東京大学大学院の吉田伸之教授のもとで、江戸時代の都市社会における宗教のあり様や、宗教者の暮らしぶりを、神社や神主をテーマとして研究してきました。飯田・下伊那地域には5年前から、吉田ゼミの清内路村下区有文書調査などで数回ほど来たことがありますが、訪れるたびに、固有の文化を持ち、水清らかな美しい場所と思いました。このたび歴史研究所の仕事にたずさわって、飯田・下伊那地域に貢献できることをうれしく思います。この下伊那は諏訪社の影響が強く、幕末には国学の盛んな地域でありましたので、神職や僧侶が地元の社会とどのように結びつきながら、他の地域と文化的な交流を深めていったのか、社会と宗教のありかたを通して、江戸時代の下伊那を考えていければと思っています。

前任の多和田雅保研究員が頑張られたあとを引き継いでいくプレッシャーもありますが、少しでも地域に貢献できるよう精一杯努力しますので、なにとぞ宜しくお願いします。

情報募集 「丘の上」の歴史情報をお寄せ下さい

歴史研究所では、今年度から現在の中心市街地にあたる旧飯田町と、隣接する旧上飯田町(村)の地域の調査研究を重点的に行います。

この地域は飯田市域において唯一、村誌や町誌が刊行されていない地域です。このため歴史研究所は、この地域の史料集や、史料を分かりやすく解説した読み物などを刊行しつつ、「丘の上」の「全体史」を叙述した刊行物を出版する予定です。

現在研究所ではこれらの史料を調査中ですが、古文書や写真など、飯田・上飯田の過去の暮らしが分かる史料について何か情報をご存じでしたら、ぜひ歴史研究所までお知らせ下さい。



▲1960年ころの知久町三丁目

飯田大火前の町並みなどが分かるような写真や、古文書などを探しています。



▲大正4年知久町御大典御輿(木下寿子さん提供)

地域史講座

シリーズ **みるよむまなぶ**
飯田・下伊那の歴史



歴史研究所発行の上記の本を教材に、講座を開催します。

- ② 6月28日(土) 午後1時30分～
「水害を被った村」
- ・講師 清水迪夫 調査研究補助員
- ・場所 かわらんべ 2階 総合学習室

ご連絡・申込み・問い合わせ 飯田市歴史研究所 ☎0265-53-4670 FAX 0265-21-1173

歴研日誌

4月

- 1日 研究員(竹ノ内雅人)着任
- 5日 現代史ゼミ「飯伊の森林について」
- 3日 養蚕民家調査(下久堅)
- 4日 本棟民家調査(上郷)
- 5日 『満州移民』書評会(講師:加藤陽子さん)
- 8日 本棟民家調査(三穂)
- 10日 近現代史ゼミ「文献講読『忘れられた日本人』」/市議会総務文教委員会研究所視察
- 16日 現代史ゼミ「遠山地域について」
- 19～20日 飯田アカデミア第41講座「巨大で豪華な建築の話①安土城と大坂城 ②出雲大社と厳島神社」(講師:三浦正幸さん)
- 22日 水引製造について聞き取り調査(熊谷恒次さん)
- 23日 本棟民家調査(下久堅)
- 24日 近現代史ゼミ「胡桃沢日記編集方針」
- 30日 現代史ゼミ「飯伊の伝統産業」

5月

- 2日 下瀬上松家史料調査
- 7日 南原区民センター史料調査
- 8日 近現代史ゼミ「文献講読『忘れられた日本人』」
- 9日 宮の前松澤卓治家所蔵史料所在調査
- 10日 地域史講座「瀧澤医院と擬洋風建築」
- 13日 南原区民センター史料調査/白山神社拝殿調査/建築史ゼミ「失われた建物の復元方法」
- 14日 現代史ゼミ「聞き取り 戦後の遠山」
- 17日 飯田アカデミア第42講座「砂糖のイスラム史」(講師:佐藤次高さん)
- 22日 近現代史ゼミ「文献講読『忘れられた日本人』」
- 24～25日 座光寺史料調査会
- 28日 現代史ゼミ「地域史を読む『尼崎の歴史』」
- 31日～6月1日 第1回地域史惣寄合—地域史の現在—

■ 継続調査 旧南信濃村役場文書、北原嘉雄氏所蔵史料、岡田昭夫氏所蔵史料、部奈一朗氏所蔵史料、今村和貴氏所蔵史料、森本家(大森本)史料、上松家史料

6月・7月の催事スケジュール

6月		2008	7月	
日	地域史惣寄合(2日目)	1	火	
月		2	水	
火		3	木	
水		4	金	
木		5	土	
金		6	日	
土	アカデミア 第43講座	7	月	
日	アカデミア 第43講座	8	火	建築史ゼミ
月		9	水	現代史ゼミ
火	建築史ゼミ	10	木	近現代史ゼミ
水	現代史ゼミ	11	金	
木	近現代史ゼミ	12	土	
金		13	日	
土		14	月	
日		15	火	
月		16	水	
火		17	木	
水		18	金	
木		19	土	アカデミア 第44講座
金		20	日	アカデミア 第44講座
土	近世史ゼミ	21	月	
日		22	火	
月		23	水	現代史ゼミ
火		24	木	近現代史ゼミ
水	現代史ゼミ	25	金	
木	近現代史ゼミ	26	土	
金		27	日	
土	地域史講座	28	月	
日		29	火	
月		30	水	
		31	木	

開所日 開所時間 午前9時～午後5時
休所日 日曜日、月曜日、祝日、12月29日～1月3日